

備前市事務事業評価シート

(平成21年度事業)

事業の概要			
事業開始年度		平成18年、平成19年、平成20年、平成21年	
総合計画	大項目	基本目標	04 もてなしの心とたくましさのあるまちづくり
	中項目	基本施策	01 豊かな食を支えるまちづくり
	小項目	施策	01 農業
事務事業名		04	災害復旧事業
根拠法令・例規等		暫定法・激甚法	
問		担当課(室)	農林水産課
合		職・氏名	耕地治山係長 藤森 亨
先		電話	(0869) 64-1830
このシート作成に要した時間		4.0 時間	

事業の目的	
対象(誰・何に対して)	農業経営者・農業従事者及び被災対象住民
目的(何のために)	集中豪雨等天然災害により被災した、農地・農業用施設を復旧し、機能回復を図る。
事業の意図する成果(どのような状態にしたいのか)	従前の機能回復

事業の実績			
目的を達成するために実施した事業	細事業名	事業の説明	優先度
	農業用施設災害復旧事業	ため池、頭首工、農業用水路等の農業用施設で、受益戸数2戸以上の施設が復旧対象。	
	農地災害復旧事業	田、畑で耕作の用に供されている土地で現に耕作している土地が復旧対象。	
	林道災害復旧事業	市が管理する林道が被災した際に復旧を行う。	

事業費等		単位	平成19年度実績	平成20年度実績	平成21年度実績	
決算額	直接事業費		12,995	12,897	9,113	
	必要人員(人件費)	千円	1.07人	6,706	0.47人	3,452
	事業費計		19,701	16,349	12,255	
	国県支出金		5,571	9,398	4,166	
	受益者負担		30			
	繰入金	千円		500		
	その他()					
	一般財源		13,600	6,951	8,089	
	受益者負担比率	%	0.2%	-	-	
	結果指標名	単位	平成19年度実績	平成20年度実績	平成21年度実績	
2カ年以内に完成した災害	説明	災害発生から完成まで2カ年経過した箇所数				
結果指標量	事業	5	3	3		
対前年比	%	-	60.0%	100.0%		
活動コスト		19,701,000	16,349,000	12,220,000		
単位当たりコスト	円	3,940,200	5,449,667	4,073,333		

事業の成果					
成果指標名	年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度目標値
2カ年以内の復旧率	目標値(A)	100	100	100	100
	実績値(B)	100	100	100	到達目標値
	達成率(B/A)	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%
成果指標設定の考え方・式や説明					
2カ年以内の完成箇所/災害発生総数					

事務事業の評価			
妥当性の評価	市の関与の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 市が実施するよう法令で義務づけられている <input type="checkbox"/> 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input type="checkbox"/> 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない <input type="checkbox"/> 事業の内容が一部の受益者に偏っている <input type="checkbox"/> 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input checked="" type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input checked="" type="checkbox"/> 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある <input checked="" type="checkbox"/> 市民・団体等から要望・要請が強い	妥当性評価 <A-E> B
	市民ニーズ	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> 実施方法(派遣・委託含)を見直すことでコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> 受益者負担率は適正である <input type="checkbox"/> 受益者負担率を見直す余地がある <input checked="" type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある <input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている	効率性評価 <A-E> B
有効性の評価	目的達成度	<input checked="" type="checkbox"/> 成果指標の設定は適切である <input checked="" type="checkbox"/> 成果指標の到達目標値は達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は前年度と比較して向上している <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は80%未満となっている <input type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない <input type="checkbox"/> 法定事務・内部管理事務 であり成果は求めにくい <input type="checkbox"/> 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参加している	有効性評価 <A-E> B

進行年度(H22年度)の改革改善内容						
状況	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止・完了
説明	災害発生後は、速やかに現場立会、査定、工事着手を行い早期完了を図る。					

総合評価	
本事業は工事完了の進捗状況によって農業生産に多大な影響を与えるため、早期完了を目標に行う事業である。	評価区分 <A-E> B

平成23年度の方向性及び取組目標						
方向性	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止・完了
取組目標	災害発生後は、速やかに現場立会、査定、工事着手を行っていく。 また、近年の異常気象により災害の規模が多くなってきているため、日常の施設の計画的な維持管理が今後は必要となってくる。					

事業の目的、対象、内容を考えながら妥当性の評価を行って下さい

事業費や単位当たりコストは留意しながら効率性の評価を行って下さい

留意事項
 留意事項の目的が、その数値目標であること、下向きに評価されていること、